

バイオデザインプロセスを用いた 障害者の支援機器開発 ワークショップ

支援(福祉)機器は、生活面で介助が必要な障害者だけでなく、介護側の負担を軽減する目的も備えています。介護ロボットの登場など、近年の支援機器開発は目覚ましい発展を遂げています。しかし、製品が上市に至るには、優れたシーズであるだけでなく、製品化ニーズ、臨床ニーズとの合致に加え、安全性・有効性、事業性など、さまざまな要件を備えなければなりません。

本ワークショップでは、スタンフォード大学発の医療機器開発に特化したバイオデザインプロセスを支援機器に応用し、初期の段階から事業化を見据えた製品の開発方法について学びます。

具体的な内容

- ・ ニーズの発掘、選別方法
- ・ アイデア、コンセプトの発掘、選別方法
- ・ ラピッドプロトタイピング

定員
12名

参加費無料

2021年

日時

1月20日 水 9:00～17:00

会場

東北大学青葉山キャンパス 工学部管理棟2階
東北大学医工学研究科 講義室 (203)

対象

医療従事者、工学系教員、医学・工学系大学院生、学部生

講師



柿花 隆昭 氏

理学療法士, 博士(障害科学)

ジャパンバイオデザイン 第V期フェロウシップ修了



梶山 愛 氏

修士(工学), クレインバスキュラー株式会社CEO

ジャパンバイオデザイン 第IV期フェロウシップ修了

申し込み

以下【1】か【2】のいずれかの方法で、
2021年1月13日(水)までにお申し込みください

1. 申し込みフォーム: <https://forms.gle/FNqwfNQCL2CPiUQn8>

※QRコード読み込みでも申し込み可能です

2. メールにて以下を明記の上『1/20 支援機器ワークショップ参加希望』と題して
sayaka.ishizawa.e7@tohoku.ac.jp へご連絡をお願いいたします

1)氏名・フリガナ 2)所属・役職 3)メールアドレス

問い合わせ: 022-717-8588 または 上記メールアドレス

東北大学大学院医工学研究科 健康維持増進医工学分野 担当: 石澤

主催: 東北大学大学院医工学研究科

